

# 施工パッケージ型 積算方式について

千葉県農林水産部耕地課  
平成29年10月

1

## 目次

- I 施工パッケージ型積算の導入状況  
(国、県土整備部の状況等)
- II 施工パッケージ型積算のイメージ  
(施工パッケージ単価の算出イメージ等)
- III 施工パッケージ単価の補正計算方法  
(表計算による施工パッケージ単価の補正計算方法)
- IV 施工パッケージ単価の補正計算例  
(表計算による補正計算の例示)
- V 導入予定の施工パッケージ一覧  
(農林水産省HP掲載の標準単価表より)
- VI 試行期間と導入予定時期  
(試行期間、適用時期等)

2

# I 施工パッケージ型積算の導入状況

平成24年10月より

国土交通省が新たな積算方式として導入

平成26年10月より

千葉県県土整備部が運用開始

平成28年10月より

農林水産省が導入

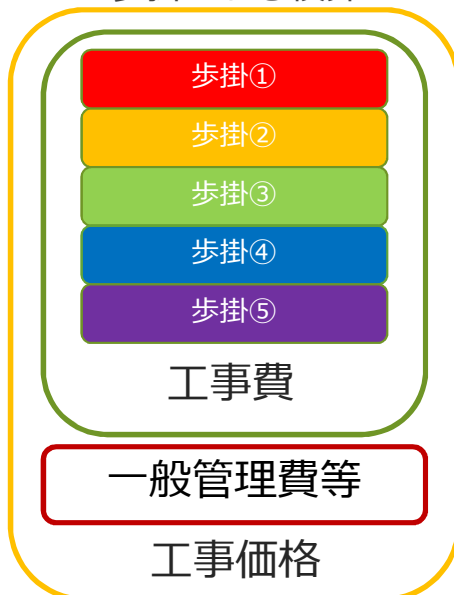
平成29年10月

千葉県農林水産部が試行

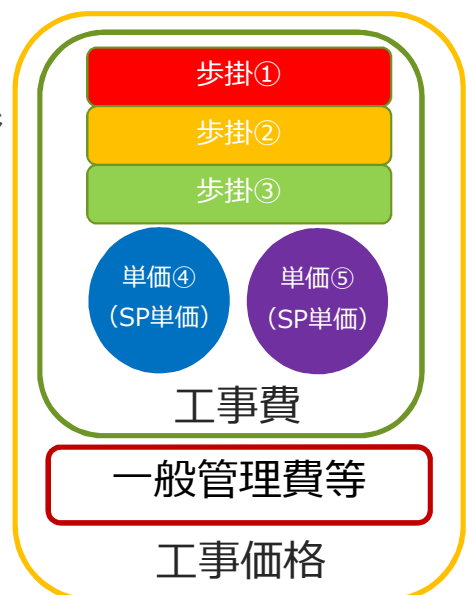
3

# II 施工パッケージ型積算による 単価を使用した積算のイメージ

歩掛による積算



施工パッケージ型積算



施工パッケージ  
単価 (SP単価)  
の適用



歩掛の一部が  
施工パッケージ  
単価 (SP単価)  
に置き換わる

4

## Ⅱ 東京標準単価の算出イメージ

- 複数の経費を1つの単価にまとめたものが施工パッケージのイメージ。施工パッケージ単価には基準となる東京標準単価と、積算に使用する積算単価（地区単価）がある。



5

## Ⅱ 積算単価の算出イメージ

積算に使用する単価(積算単価)は東京標準単価を補正して算出する。

積算単価(地区単価)=

$$\begin{aligned}
 & \text{機械費(東京)} \times \frac{\text{機械単価(地区)}}{\text{機械単価(東京)}} + \text{労務費(東京)} \times \frac{\text{労務単価(地区)}}{\text{労務単価(東京)}} + \text{材料費(東京)} \times \frac{\text{材料単価(地区)}}{\text{材料単価(東京)}} \\
 & = \text{東京標準単価} \times \left( K \times \frac{\text{機械単価(地区)}}{\text{機械単価(東京)}} + R \times \frac{\text{労務単価(地区)}}{\text{労務単価(東京)}} + Z \times \frac{\text{材料単価(地区)}}{\text{材料単価(東京)}} \right)
 \end{aligned}$$

補正式

条件区分に定めのない規格により積算する場合などに補正計算が必要になる。

標準単価表（機労材の割合(構成比)や東京標準単価が記載されている）や補正計算の例が

農林水産省HPからダウンロードできる。

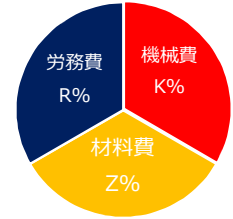
6

# II 標準単価表の例

歩掛

施工パッケージ単価

作業員〇人  
 コンクリ〇m<sup>3</sup>  
 ポンプ車〇日



歩掛の内訳が数量で表されるのに対し施工パッケージ単価の内訳は全体に対する比率(構成比)で表される。構成比は標準単価表から調べることができる。

No.015【コンクリート】		条件区分										機材材構成比												代表機材材規格							
構造物種別	施工条件	コンクリート規格	設計日打設量	養生工程種類	圧送管延長距離区分	現場内小運搬の有無	打設高さ、水平距離	標準単価	K			R				Z				S											
									K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4	Z1	Z2	Z3	Z4	K1	K2	K3	R1	R2	R3	R4					
鉄筋構造物	打設量10m <sup>3</sup> /日以上(高圧)	24-8-25(20)	10m <sup>3</sup> 以上300m <sup>3</sup>	養生無し	延長無し	-	-	17,827	5.08	5.03	-	14.99	6.06	5.15	1.82	1.82	79.93	79.10	0.83	-	-	-	-	-	-	-	コンクリートポンプ車	-	-	普通作業員	特別作業員
鉄筋構造物	打設量10m <sup>3</sup> /日以上(高圧)	24-8-25(20)	10m <sup>3</sup> 以上300m <sup>3</sup>	養生無し	80m以下	-	-	18,016	5.26	4.92	-	16.53	7.80	5.03	1.78	1.78	78.21	77.40	0.81	-	-	-	-	-	-	コンクリートポンプ車	-	-	普通作業員	特別作業員	
鉄筋構造物	打設量10m <sup>3</sup> /日以上(高圧)	24-8-25(20)	10m <sup>3</sup> 以上300m <sup>3</sup>	養生無し	80mを超え120m以下	-	-	18,798	5.60	4.71	-	19.45	11.07	4.83	1.71	1.71	74.95	74.17	0.78	-	-	-	-	-	-	コンクリートポンプ車	-	-	普通作業員	特別作業員	
鉄筋構造物	打設量10m <sup>3</sup> /日以上(高圧)	24-8-25(20)	10m <sup>3</sup> 以上300m <sup>3</sup>	養生無し	120mを超え180m以下	-	-	19,579	5.92	4.52	-	22.11	14.07	4.63	1.64	1.64	71.97	71.23	0.74	-	-	-	-	-	-	コンクリートポンプ車	-	-	普通作業員	特別作業員	
鉄筋構造物	打設量10m <sup>3</sup> /日以上(高圧)	24-8-25(20)	10m <sup>3</sup> 以上300m <sup>3</sup>	養生無し	180mを超え240m以下	-	-	20,360	6.21	4.35	-	24.57	16.85	4.45	1.58	1.57	69.22	68.50	0.72	-	-	-	-	-	-	コンクリートポンプ車	-	-	普通作業員	特別作業員	
鉄筋構造物	打設量10m <sup>3</sup> /日以上(高圧)	24-8-25(20)	10m <sup>3</sup> 以上300m <sup>3</sup>	一般養生	延長無し	-	-	18,322	4.88	4.84	-	18.21	8.07	4.85	1.75	1.75	76.91	76.11	0.80	-	-	-	-	-	-	コンクリートポンプ車	-	-	普通作業員	特別作業員	
鉄筋構造物	打設量10m <sup>3</sup> /日以上(高圧)	24-8-25(20)	10m <sup>3</sup> 以上300m <sup>3</sup>	一般養生	80m以下	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	コンクリートポンプ車	-	-	普通作業員	特別作業員	

7

# II 標準単価から積算単価への補正イメージ

● 機材の構成比、標準単価、積算地区単価等から積算単価を計算する。

● P : 標準単価(東京単価)

● P' : 積算単価(地区単価)

代表機材材規格		構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)
K	代表機械規格	Kr		
	K1	K1r	K1t	K1t'
	K2	K2r	K2t	K2t'
	K3	K3r	K3t	K3t'
R	代表労務規格	Rr		
	R1	R1r	R1t	R1t'
	R2	R2r	R2t	R2t'
	R3	R3r	R3t	R3t'
Z	代表材料規格	Zr		
	Z1	Z1r	Z1t	Z1t'
	Z2	Z2r	Z2t	Z2t'
	Z3	Z3r	Z3t	Z3t'
S	市場単価	Sr	St	St'

$$P'(積算単価) = P \times \left\{ \left( \frac{K1r}{100} \times \frac{K1t'}{K1t} + \frac{K2r}{100} \times \frac{K2t'}{K2t} + \frac{K3r}{100} \times \frac{K3t'}{K3t} \right) \times \frac{Kr}{K1r + K2r + K3r} + \left( \frac{R1r}{100} \times \frac{R1t'}{R1t} + \frac{R2r}{100} \times \frac{R2t'}{R2t} + \frac{R3r}{100} \times \frac{R3t'}{R3t} + \frac{R4r}{100} \times \frac{R4t'}{R4t} \right) \times \frac{Rr}{R1r + R2r + R3r + R4r} + \left( \frac{Z1r}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} + \frac{Z3r}{100} \times \frac{Z3t'}{Z3t} + \frac{Z4r}{100} \times \frac{Z4t'}{Z4t} \right) \times \frac{Zr}{Z1r + Z2r + Z3r + Z4r} + \frac{Sr}{100} \times \frac{St'}{St} - \frac{Kr}{100} - \frac{Rr}{100} - \frac{Zr}{100} - \frac{Sr}{100} - \left( \frac{Z1r \times a}{100} \times \frac{Z1t'}{Z1t} + \frac{Z2r \times b}{100} \times \frac{Z2t'}{Z2t} + \frac{Z3r \times c}{100} \times \frac{Z3t'}{Z3t} + \frac{Z4r \times d}{100} \times \frac{Z4t'}{Z4t} \right) \right\} = \text{〇〇〇} \text{ (円/単位)}$$

● 灰色部分は支給品がある場合の補正

積算単価が計算される

8

# Ⅲ 施工パッケージ単価の補正計算方法

表計算による補正計算の流れは次のとおり。

- ① 標準単価表をダウンロード。  
(農水省HPより標準単価表をダウンロード。)
- ② 標準単価表などから必要な数値を拾う。  
(標準単価と構成比、基礎単価の規格、基礎単価等を調べる。)
- ③ ②の数値を使用し計算を行う。  
(②で調べた数値を補正式に当てはめ積算単価を計算する。)

9

## ① 標準単価表のダウンロード

- 農林水産省HPから「施工パッケージ」等で検索
- 標準単価表をダウンロード
- 補正方法の説明資料はこちら

### 農林水産省

会見・報道・広報	政策情報	統計情報	申請・お問い合わせ	農林水産省について
----------	------	------	-----------	-----------

ホーム > 組織・政策 > 農村振興 > 設計・施工・入札等 > 施工パッケージ型積算方式の試行の実施

#### 施工パッケージ型積算方式の試行の実施

土地改良工事の積算の効率化の一層の促進を図るため、施工パッケージ型積算方式を導入し、平成28年10月1日から導入しています。

平成29年度において次の改正を行いました。

##### (1) 積算基準

平成29年4月から適用する施工パッケージ型積算基準

「施工パッケージ型積算基準新旧対照表」(PDF: 446KB)

平成29年10月から適用する施工パッケージ型積算基準

「施工パッケージ型積算基準新旧対照表」(PDF: 1,204KB) H29.5.18正誤表(PDF: 116KB)

##### (2) 施工パッケージ標準単価表

平成29年4月から適用する施工パッケージ標準単価表

「施工パッケージ型積算方式標準単価表(平成29年4月から適用)」(EXCEL: 539KB)

「東日本大震災の被災地で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表(平成29年4月から適用)」(EXCEL: 142KB)

「熊本地震の被災地(熊本県)で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表(平成29年4月から適用)」(EXCEL: 52KB)

平成29年10月から適用する施工パッケージ標準単価表

「施工パッケージ型積算方式標準単価表(平成29年10月から適用)」(EXCEL: 1,216KB)

「東日本大震災の被災地で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表(平成29年10月から適用)」(EXCEL: 388KB)

平成28年10月適用施工パッケージ標準単価表

「施工パッケージ型積算方式標準単価表(平成28年10月適用)」(EXCEL: 1,436KB)

「東日本大震災の被災地で適用する施工パッケージ型積算方式標準単価表(平成28年10月適用)」(EXCEL: 139KB)

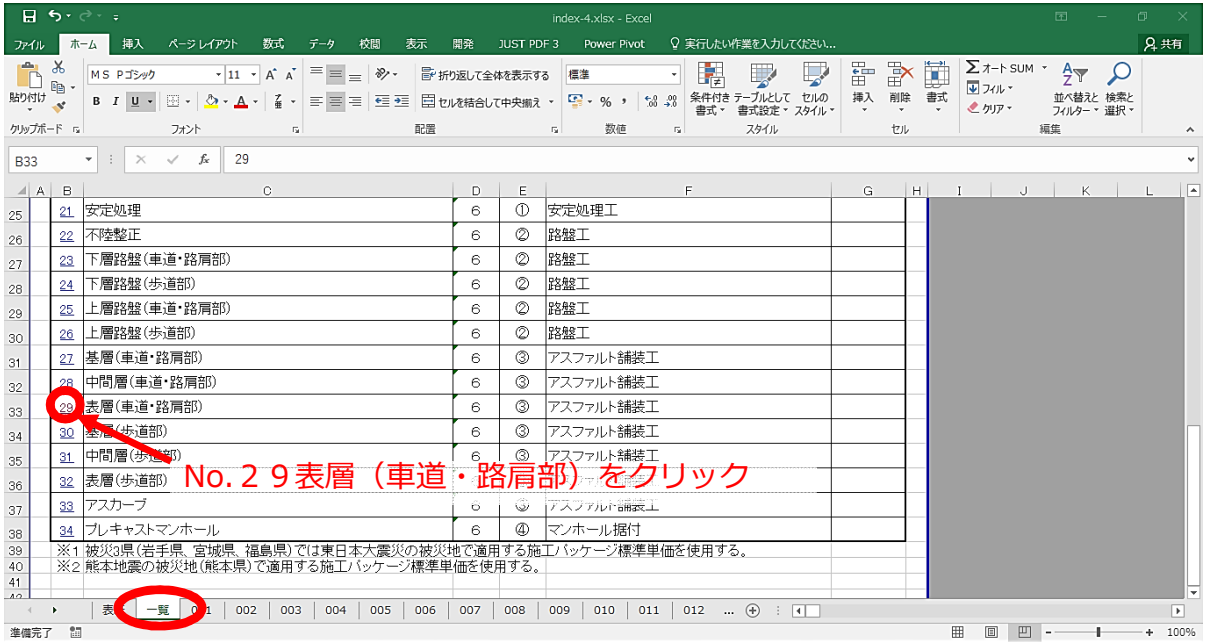
##### (3) 標準単価表と補正方法

「標準単価から積算単価への補正方法」(PDF: 256KB)

【補足】施工パッケージ型積算方式標準単価表の見方(PDF: 59KB)

[http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/unit\\_price/](http://www.maff.go.jp/j/nousin/seko/unit_price/)

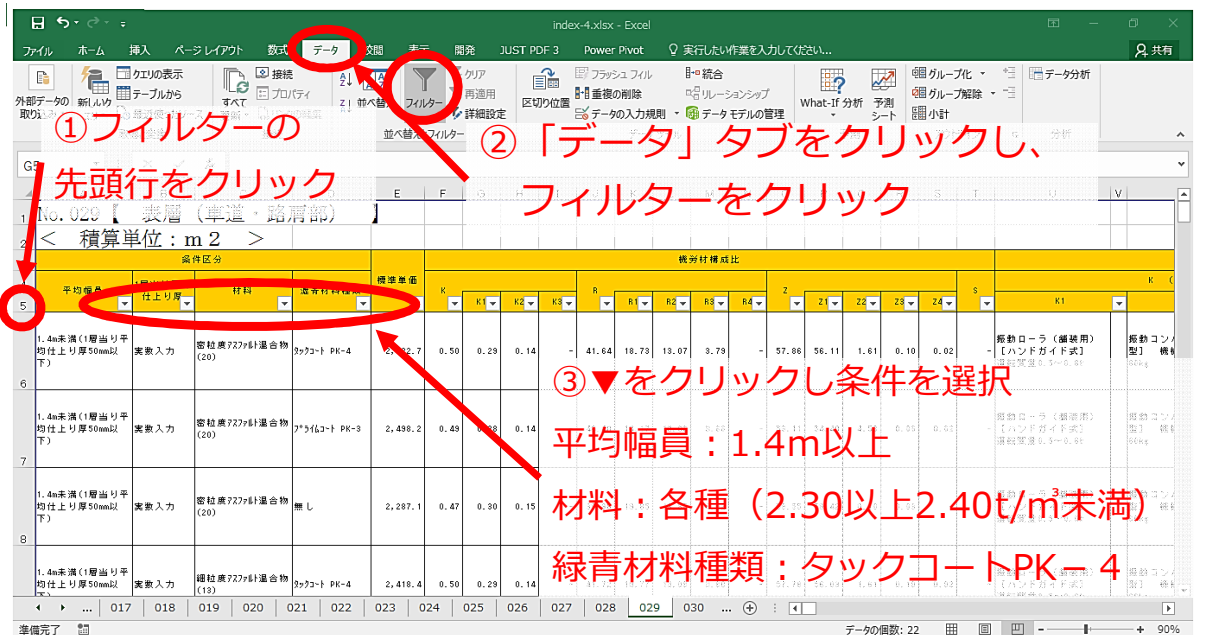
## ② 数値をひろうため一覧タブから参照したい単価の番号を選択



\* 上記エクセルシートは農林水産省Webサイトに掲載されているものを加工して作成。

11

## ② フィルター機能を利用して条件を絞り込む。



\* 上記エクセルシートは農林水産省Webサイトに掲載されているものを加工して作成。

12

## ② 機労材構成比のコピー

機労材構成比の範囲を選択しコピー。

\* 上記エクセルシートは農林水産省Webサイトに掲載されているものを加工して作成。

13

## ③ 計算シートへの機労材構成比の入力

① L7セルを選択し▼をクリック。「形式を選択して貼り付け」を選択。

② 「値」と「行列を入れ替える」にチェックを入れOKボタンをクリック。

③ 単価表の標準価格を確認し入力する。

14



# ③ 規格、基礎単価の入力

施工パッケージ単価計算書 ①地域及び時期の違いによる補正 ②標準単価表から機労材規格を入力する。  
 青字で0が入力されているセルに数値を入力。補正については※1～4参照。 単価名称：表座 ③東京の基礎単価を入力する。  
 標準単価：1661.5 円 単価期：17 ④発注単価期の積算地区の基礎単価を入力する。  
 ⑤積算単価が計算される。

K	代表機材規格			K1	【機械経費の補正】※1	
	構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)		積算地区	割増率(%)
K1	1.81	40,200	41,100	K1		
K2	0.50	11,000	11,400	K2		
K3	0.50	11,900	12,400	K3		
R	代表労務規格			R1	【労務費の補正】※2	
R1	3.01	19,200	18,700	R1		
R2	1.72	22,000	22,200	R2		
R3	1.67	21,600	22,100	R3		
R4	0.60	23,300	22,400	R4		
Z	代表材料規格			Z1	【材料規格の変更】※3	
Z1	85.57	11,300	11,500	Z1	標準数量	東京単価
Z2	2.35	91	91	Z2	使用数量	積算地区
Z3	0.35	107	87	Z3		支給品
Z4	0.00	0	0	Z4		
S	市場単価					
S	0.00	0	0			

※1 ※2 総費の補正（差割増、時価外の費金割増等）をする場合は、補正  
 ※3 材料規格の変更した材料名  
 ※4 材料の異数入力 ※5 支給品 ※5 材料を全て支給する場合は、該当する欄に1を入力する。

P(積算単価) = 1661.5 × { ( 1.81/100 × 41100/40100 + 0.5/100 × 11400/11000 + 0.5/100 × 12400/11900 ) × 1.81 + 0.5 + 0.5 + ( 3.01/100 × 18700/19200 + 1.72/100 × 22200/22000 + 1.67/100 × 22100/21600 + 0.6/100 × 22400/23300 ) × 3.01 + 1.72 + 1.67 + 0.6 + ( 85.57/100 × 11500/11300 + 2.35/100 × 91/91 + 0.35/100 × 86.5/107 + 0/100 × 0/0 ) × 85.57 + 2.35 + 0.35 + 0 + 0/100 × 0/0 + 0/100 × 0/0 - 3.34 - 8.33 - 88.33 - 0 } = 1687 積算単価 (円/単位)

基礎単価の設定方法については土地改良工事積算マニュアル等を参照 15

## IV 施工パッケージ単価の補正計算例

先ほどの農林水産省HPに補正計算が必要な場合である

- ① 地域及び時期の違いによる補正
- ② 条件区分に定めのない規格により積算する場合
- ③ 条件区分に実数入力を行い積算する場合
- ④ 時間外割増賃金や豪雪地域補正等を行う場合
- ⑤ 支給品がある場合

の計算例が掲載されている。  
 計算シートを使用して計算した結果は次のとおり。



# ①地域及び時期の違いによる補正

施工パッケージ単価計算書

①地域及び時期の違いによる補正の計算例

青字で0が入力されているセルに数値を入力。補正については※1~4参照。

単価名称：表層（車道・路肩部）舗装

条件区分：① 平均厚さ：45~55mm 平均幅員：1.4m以上

1㎡当たり単価表

標準単価：1661.5 円

単価期：

代表機材規格		構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	【機械経費の補正】※1		※1, ※2 経費の補正（素葬割増、時働外の費金割増等）をする場合は、補正前単価を「積算地区」欄に入し割増した額を「積算地区(円)」欄に入力する。				
K	代表機械規格	3.34			K	積算地区	割増率(%)				
K1	アスファルトフィニッシャー幅2.4~6m	1.81	40,100	41,100	K1						
K2	タイヤローラー質量5~20t	0.50	11,000	11,400	K2			※3) 代表材料規格以外の積算単価を算出する場合は規格変更した材料名を※3下欄にメモし材料価格を「積算地区(円)」欄に入力する。			
K3	ロードローラー運転質量10~12t	0.50	11,900	12,400	K3			※4) アスファルト混合物等、材料の買入量がある場合は代表材料規格の標準数量に東京単価を乗じた額を「東京(円)」に、また設計の使用数量に積算地区単価を乗じた額を「積算地区(円)」に入力する。			
R	代表労務規格	8.33			R	積算地区	割増率(%)				
R1	普通作業員	3.01	19,200	18,700	R1			【労務費の補正】※2			
R2	特殊作業員	1.72	22,000	22,200	R2						
R3	運転手（特殊）	1.67	21,600	22,100	R3						
R4	土木一般世帯役	0.60	23,300	22,400	R4						
Z	代表材料規格	88.33			Z	規格変更した材料名	標準数量	東京単価	使用数量	積算地区	支給品
Z1	アスファルト混合物 密実度AS混合物 (20)	85.57	11,300	11,500	Z1						
Z2	アスファルト乳剤PK-4 タックコート用	2.35	91	91	Z2						
Z3	乾油 1.2号 バトロール乾油	0.35	107	87	Z3						
Z4	-	0.00	0	0	Z4						
S	市場単価	0.00	0	0	【材料規格の変更】※3		【材料の買入量】※4		【支給品】※5		

$$P(\text{積算単価}) = 1661.5 \times \left\{ \left( \frac{1.81}{100} \times \frac{41100}{40100} + \frac{0.5}{100} \times \frac{11400}{11000} + \frac{0.5}{100} \times \frac{12400}{11900} \right) \times \frac{3.34}{1.81 + 0.5 + 0.5} + \left( \frac{3.01}{100} \times \frac{18700}{19200} + \frac{1.72}{100} \times \frac{22200}{22000} + \frac{1.67}{100} \times \frac{22100}{21600} + \frac{0.6}{100} \times \frac{22400}{23300} \right) \times \frac{8.33}{3.01 + 1.72 + 1.67 + 0.6} + \left( \frac{85.57}{100} \times \frac{11500}{11300} + \frac{2.35}{100} \times \frac{91}{91} + \frac{0.35}{100} \times \frac{86.5}{107} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{88.33}{85.57 + 2.35 + 0.35 + 0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{100 - 3.34 - 8.33 - 88.33 - 0}{100} - \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \right\} = 1687 \text{ (円/単位)}$$

積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切り上げる

17

# ②条件区分に定めのない規格による場合

施工パッケージ単価計算書

②条件区分に定めのない規格により積算する場合の計算例

青字で0が入力されているセルに数値を入力。補正については※1~4参照。

単価名称：表層（車道・路肩部）舗装

条件区分：① 平均厚さ：45~55mm 平均幅員：1.4m以上

1㎡当たり単価表

標準単価：1661.5 円

単価期：

代表機材規格		構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	【機械経費の補正】※1		※1, ※2 経費の補正（素葬割増、時働外の費金割増等）をする場合は、補正前単価を「積算地区」欄に入し割増した額を「積算地区(円)」欄に入力する。				
K	代表機械規格	3.34			K	積算地区	割増率(%)				
K1	アスファルトフィニッシャー幅2.4~6m	1.81	40,100	41,100	K1						
K2	タイヤローラー質量5~20t	0.50	11,000	11,400	K2			※3) 代表材料規格以外の積算単価を算出する場合は規格変更した材料名を※3下欄にメモし材料価格を「積算地区(円)」欄に入力する。			
K3	ロードローラー運転質量10~12t	0.50	11,900	12,400	K3			※4) アスファルト混合物等、材料の買入量がある場合は代表材料規格の標準数量に東京単価を乗じた額を「東京(円)」に、また設計の使用数量に積算地区単価を乗じた額を「積算地区(円)」に入力する。			
R	代表労務規格	8.33			R	積算地区	割増率(%)				
R1	普通作業員	3.01	19,200	18,700	R1			【労務費の補正】※2			
R2	特殊作業員	1.72	22,000	22,200	R2						
R3	運転手（特殊）	1.67	21,600	22,100	R3						
R4	土木一般世帯役	0.60	23,300	22,400	R4						
Z	代表材料規格	88.33			Z	規格変更した材料名	標準数量	東京単価	使用数量	積算地区	支給品
Z1	アスファルト混合物 密実度AS混合物 (20)	85.57	11,300	10,300	Z1	再生集料As2.0					
Z2	アスファルト乳剤PK-4 タックコート用	2.35	91	91	Z2						
Z3	乾油 1.2号 バトロール乾油	0.35	107	87	Z3						
Z4	-	0.00	0	0	Z4						
S	市場単価	0.00	0	0	【材料規格の変更】※3		【材料の買入量】※4		【支給品】※5		

$$P(\text{積算単価}) = 1661.5 \times \left\{ \left( \frac{1.81}{100} \times \frac{41100}{40100} + \frac{0.5}{100} \times \frac{11400}{11000} + \frac{0.5}{100} \times \frac{12400}{11900} \right) \times \frac{3.34}{1.81 + 0.5 + 0.5} + \left( \frac{3.01}{100} \times \frac{18700}{19200} + \frac{1.72}{100} \times \frac{22200}{22000} + \frac{1.67}{100} \times \frac{22100}{21600} + \frac{0.6}{100} \times \frac{22400}{23300} \right) \times \frac{8.33}{3.01 + 1.72 + 1.67 + 0.6} + \left( \frac{85.57}{100} \times \frac{10300}{11300} + \frac{2.35}{100} \times \frac{91}{91} + \frac{0.35}{100} \times \frac{86.5}{107} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{88.33}{85.57 + 2.35 + 0.35 + 0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{100 - 3.34 - 8.33 - 88.33 - 0}{100} - \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \right\} = 1536 \text{ (円/単位)}$$

積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切り上げる

18

# ③条件区分に実数入力を行い積算する場合

施工/パッケージ単価計算書

③条件区分に実数入力を行い積算する場合の計算例

青字で0が入力されているセルに数値を入力。補正については※1~4参照。

単価名称: 基層(歩道部)・中間層(歩道部)・表層(歩道部) 1㎡当たり単価表

条件区分: ① 平均厚さ: 標準単価50積算70mm 平均幅員: 1.4m以上  
② 材料: 畜粒度A ≤ 20 (締固め後密度2.35t/㎡)  
③ 選青材料種類: タックコートPK-4

代表機材規格				構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	【機械費の補正】※1		※1,※2 経費の補正(高警割増、時間外の賃金割増等)をする場合は、補正前単価を「積算地区」欄に入力し割増した額を「積算地区(円)」欄に入力する。						
K	代表機材規格			3.57				K	積算地区	割増率(%)					
K1	アスファルトフィニッシャー幅2.4~6m			1.92	41,100	41,100		K1							
K2	タイヤローラー質量8~20t			0.54	11,400	11,400		K2							
K3	ロードローラー運転質量10~12t			0.54	12,400	12,400		K3							
R	代表労務規格			8.88				R	積算地区	割増率(%)					
R1	普通作業員			3.22	19,800	18,900		R1							
R2	特殊作業員			1.84	22,700	22,100		R2							
R3	運転手(特殊)			1.79	22,300	21,700		R3							
R4	土木一般労務			0.61	23,000	23,300		R4							
Z	代表材料規格			87.55				Z	規格変更した材料名	標準数量	東京単価	使用数量	積算地区	支給品	
Z1	アスファルト混合物 畜粒度AS混合物(20)			84.76	540,000	756,000		Z1		50.00	10800	70.00	10800		
Z2	アスファルト乳剤PK-4 タックコート用			2.44	91	89		Z2							
Z3	軽油 1.2号 バトル油			0.30	89	101		Z3							
Z4	-			0.00	0	0		Z4							
S	市場単価			0.00	0	0									

$$P(\text{積算単価}) = 1603 \times \left\{ \left( \frac{1.92}{100} \times \frac{41100}{41100} + \frac{0.54}{100} \times \frac{11400}{11400} + \frac{0.54}{100} \times \frac{12400}{12400} \right) \times \frac{3.57}{1.92 + 0.54 + 0.54} + \left( \frac{3.22}{100} \times \frac{18900}{19800} + \frac{1.84}{100} \times \frac{22100}{22700} + \frac{1.79}{100} \times \frac{21700}{22300} + \frac{0.61}{100} \times \frac{23300}{23000} \right) \times \frac{8.88}{3.22 + 1.84 + 1.79 + 0.61} + \left( \frac{84.76}{100} \times \frac{756000}{540000} + \frac{2.44}{100} \times \frac{89}{91} + \frac{0.3}{100} \times \frac{101}{89} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{87.55}{84.76 + 2.44 + 0.3 + 0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} - \frac{3.57}{100} - \frac{8.88}{100} - \frac{87.55}{100} - \frac{0}{0} - \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \right\} = 2143 \text{ 積算単価 (円/単位)}$$

積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切り上げる

19

# ④時間外割増賃金や豪雪補正等の補正

施工/パッケージ単価計算書

④時間外割増賃金や豪雪補正等の補正を行う場合の計算例

青字で0が入力されているセルに数値を入力。補正については※1~4参照。

単価名称: 表層(車道・路肩部) 舗装 1㎡当たり単価表

条件区分: ① 平均厚さ: 45~55mm 平均幅員: 1.4m以上  
② 材料: 畜粒度A ≤ 20  
③ 選青材料種類: タックコートPK-4

代表機材規格				構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	【機械費の補正】※1		※1,※2 経費の補正(高警割増、時間外の賃金割増等)をする場合は、補正前単価を「積算地区」欄に入力し割増した額を「積算地区(円)」欄に入力する。					
K	代表機材規格			3.34				K	積算地区	割増率(%)				
K1	アスファルトフィニッシャー幅2.4~6m			1.81	40,100	41,100		K1						
K2	タイヤローラー質量8~20t			0.50	11,000	11,400		K2						
K3	ロードローラー運転質量10~12t			0.50	11,900	12,400		K3						
R	代表労務規格			8.33				R	積算地区	割増率(%)				
R1	普通作業員			3.01	19,200	22,440		R1	18700	20%				
R2	特殊作業員			1.72	22,000	26,640		R2	22200	20%				
R3	運転手(特殊)			1.67	21,600	26,520		R3	22100	20%				
R4	土木一般労務			0.60	23,300	26,880		R4	22400	20%				
Z	代表材料規格			88.33				Z	規格変更した材料名	標準数量	東京単価	使用数量	積算地区	支給品
Z1	アスファルト混合物 畜粒度AS混合物(20)			85.57	11,300	11,500		Z1						
Z2	アスファルト乳剤PK-4 タックコート用			2.35	91	91		Z2						
Z3	軽油 1.2号 バトル油			0.35	107	87		Z3						
Z4	-			0.00	0	0		Z4						
S	市場単価			0.00	0	0								

$$P(\text{積算単価}) = 1661.5 \times \left\{ \left( \frac{1.81}{100} \times \frac{41100}{40100} + \frac{0.5}{100} \times \frac{11400}{11000} + \frac{0.5}{100} \times \frac{12400}{11900} \right) \times \frac{3.34}{1.81 + 0.5 + 0.5} + \left( \frac{3.01}{100} \times \frac{22440}{19200} + \frac{1.72}{100} \times \frac{26640}{22000} + \frac{1.67}{100} \times \frac{26520}{21600} + \frac{0.6}{100} \times \frac{26880}{23300} \right) \times \frac{8.33}{3.01 + 1.72 + 1.67 + 0.6} + \left( \frac{85.57}{100} \times \frac{11500}{11300} + \frac{2.35}{100} \times \frac{91}{91} + \frac{0.35}{100} \times \frac{86.5}{107} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{88.33}{85.57 + 2.35 + 0.35 + 0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} - \frac{3.34}{100} - \frac{8.33}{100} - \frac{88.33}{100} - \frac{0}{0} - \left( \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \right\} = 1714 \text{ 積算単価 (円/単位)}$$

積算単価は、有効数字4桁とし、5桁目以降を切り上げる

20

# ⑤ 支給品がある場合

施工パッケージ単価計算書

③ 支給品がある場合の計算例

赤字で0が入力されているセルに数値を入力。補正については※1～4参照。

単価名称: 表層(車道・路肩部)舗装  
1m当たり単価表

条件区分: ① 平均厚さ: 45~55mm 平均幅員: 1.4m以上  
② 材料: 畜粒度A5 20  
③ 選青材料種類: タックコートPK-4

標準単価: 1661.5 円

単価期:

K	代表機材規格		構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	K	【機械経費の補正】※1		※1, ※2
	代表機材規格	構成比(%)					積算地区	副増率(%)	
K1	アスファルトフィニッシャー幅2.4~6m	1.81	40,100	41,100	K1				経費の補正(豪華割増、時間外の費金割増等)をする場合は、補正前単価を「積算地区」欄に入力し副増した額を「積算地区(円)」欄に入力する。
K2	タイヤローラー質量8~20t	0.50	11,000	11,400	K2				
K3	ロードローラー運転質量10~12t	0.50	11,900	12,400	K3				
R	代表労務規格		構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	R	【労務費の補正】※2		※3, ※4
代表労務規格	構成比(%)	積算地区					副増率(%)		
R1	普通作業員	3.01	19,200	18,700	R1				代表材料規格以外の積算単価を算出する場合は規格変更した材料名を※3下欄にメモし材料価格を「積算地区(円)」欄に入力する。
R2	特殊作業員	1.72	22,000	22,200	R2				
R3	運転手(特殊)	1.67	21,600	22,100	R3				
R4	土庫一般作業員	0.60	23,300	22,400	R4				
Z	代表材料規格		構成比(%)	東京(円)	積算地区(円)	Z	【材料規格の変更】※3		※5
代表材料規格	構成比(%)	標準数量					東京単価	使用数量	
Z1	アスファルト混合物 畜粒度A5混合物(20)	85.57	11,300	10,300	Z1				材料を全て支給する場合は該当する欄に1を入力する。
Z2	アスファルト乳剤PK-4 タックコート用	2.35	91	91	Z2				
Z3	軽油 1.2号 バトルール給油	0.35	107	87	Z3				
Z4	-	0.00	0	0	Z4				
S	市場単価	0.00	0	0					

P(積算単価) = 1661.5 ×

$$\left\{ \left( \frac{1.81}{100} \times \frac{41100}{40100} + \frac{0.5}{100} \times \frac{11400}{11000} + \frac{0.5}{100} \times \frac{12400}{11900} \right) \times \frac{3.34}{1.81 + 0.5 + 0.5} \right.$$

$$+ \left( \frac{3.01}{100} \times \frac{18700}{19200} + \frac{1.72}{100} \times \frac{22200}{22000} + \frac{1.67}{100} \times \frac{22100}{21600} + \frac{0.6}{100} \times \frac{22400}{23300} \right) \times \frac{8.33}{3.01 + 1.72 + 1.67 + 0.6}$$

$$+ \left( \frac{85.57}{100} \times \frac{10300}{11300} + \frac{2.35}{100} \times \frac{91}{91} + \frac{0.35}{100} \times \frac{86.5}{107} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \times \frac{88.33}{85.57 + 2.35 + 0.35 + 0}$$

$$+ \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} - \frac{3.34}{100} - \frac{8.33}{100} - \frac{88.33}{100} - \frac{0}{100}$$

$$- \left( \frac{85.57}{100} \times \frac{10300}{11300} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} + \frac{0}{100} \times \frac{0}{0} \right) \left. \right\} = 240 \text{ 積算単価 (円/単位)}$$

「支給品費が控除された積算単価」は、小数点第1位を切り上げる。 21

## V 導入予定の施工パッケージ一覧

導入予定の施工パッケージは農林水産省HPに掲載されている標準単価表のエクセルシートに一覧として整理されている。

No.	施工パッケージ名称	参考: 施工パッケージ型積算基準		備考
		大分類	中分類	
1	掘削	1	② 土工	※1.2
2	土砂等運搬	1	② 土工	
3	整地	1	② 土工	※1.2
4	路体(築堤)盛土・埋戻	1	② 土工	※1.2
5	路床盛土	1	② 土工	※1.2
6	構込(リース)	1	② 土工	※1.2
7	押土(リース)	1	② 土工	
8	人力構込	1	② 土工	
9	床掘り	1	③ 作業土工(床掘工)	
10	基面整正	1	③ 作業土工(床掘工)	
11	舗装版破砕構込(小規模土工)	1	③ 作業土工(床掘工)	
12	掘削補助機械搬入搬出	1	③ 作業土工(床掘工)	
13	法面整形	1	④ 法面整形工	

\* 上記エクセルシートは農林水産省Webサイトに掲載されています。 22

## VI 試行期間と導入予定時期

H29年10月～H30年3月  
施工パッケージ 試行期間

- 平成29年度の積算基準改定日から試行期間とし、施工パッケージ単価を使用して工事を発注します。
- 一部の工事については施工パッケージに移行したものについても従来通り歩掛を使用して積算をおこないます。
- どちらの方法により積算を行ったかは特別仕様書等に明示します。



H30年4月頃～  
施工パッケージの導入

- すべての工事に施工パッケージを導入する。
- 施工パッケージの設定のない歩掛は継続使用。

23

説明は以上です。  
ご確認ありがとうございました。

24